

平成19年度事業報告

財団法人豊田市国際交流協会(TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION : TIA)は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本の柱とし、地域の国際化を推進してきました。

平成19年度は、外国人と日本人が共に語り、学び、交流を深めるとよたグローバルスクエアを、6月1日に豊田産業文化センター3階に開設した記念すべき年となりました。全体をオープンスペースとし、大型ビジョンを備えた「愛・地球博」メモリアルステージとラウンジ・ボランティアルーム・図書室・コイン式インターネットなどを配置し、活動の中で自然に交流が生まれる工夫をしました。開館時間も平日・土曜は午後9時まで延長しております。

とよたグローバルスクエアを活用した新たな取組みとして、世界の国々を外国籍市民自らが紹介する「ナショナルデー」開催や市内小学生を招待しての「国際理解教育」の試行、夜間の日本語教室や外国語講座の開催などを実施しました。これらの取組みもあり利用者数は年間約25,000人と前年比50%近い増加となりました。

また、ボランティア活動の活性化に関して、個人ボランティアの活躍の場の拡充、自主サークルや後援団体制度の創設、財団法人あすてとの施設利用協定による施設の相互利用など、ボランティアが参加しやすく、また充実した活動ができる環境整備にも留意しました。その結果、ボランティアも329名（前年比38%増）と多くの方に登録いただきましたが、今後も更なる進展に向けた取組みを継続させていただきます。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の場を通じて、相互理解と友好親善を深めた。

ア 桜花学園大学留学生（韓国）

時 期 平成19年11月10日（土）～11日（日）
受入人数 7名

イ 日本ケニア学生会議

時 期 平成19年8月15日（水）～17日（金）
受入人数 3名

(2) おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加した。TIAボランティアグループ Alpha の有志と桜花学園の韓国人留学生が集まり、「マイタウンおいでん」及び「おいでんファイナル」の2週にわたり多くの参加者を得て、国際的な交流と友情を深めた。

時 期 平成19年7月21日（土）、28日（土）
会 場 永覚新町ふれあい広場、豊田市中心市街地
参 加 者 外国人・日本人120名（2回合計）

（3）姉妹都市デトロイト市交換学生受入事業（新規）

昭和40年に始まった豊田市と姉妹都市デトロイト市との交換学生受入事業の委託を受け、デトロイト市の学生を受け入れた。豊田市滞在中には様々なプログラムを実施し、豊田市とデトロイト市の市民レベルでの国際交流を進めた。

時 期 平成19年7月19日（木）～8月2日（木）15日間
受入人数 11名（高校生8名、大学生1名、成人リーダー2名）
内 容 豊田市長・議長表敬訪問、日本文化体験、京都・奈良旅行、市内施設及びトヨタ自動車工場見学、ホームステイなど

（4）International Educators to Japan（IEJ）プログラム

ジェトロ厚生会によるプログラムで、デトロイト市からの教師を豊田市に受け入れた。教育委員会の仲介により美里中学校と若園小学校で交流事業を実施した。また、トヨタ自動車の協力により、アメリカ駐在員の子どもの教育について懇談会を開き、同社担当者とIEJメンバーの間で意見が交わされた。

時 期 平成19年6月28日（木）～7月1日（日）
受入人数 10名

（5）World Campus International（WCI）受入事業（新規）

前身であるアップウィズピープルに代わり新しく受け入れた。新団体として1年目であり、豊田市での受け入れについても例年に比べ規模を縮小して実施した。受け入れ家庭で様々な交流があり、国際交流の面で高い効果があった。

南山大学大学院のインターンを受け入れ、本プログラムの運営に携わってもらったことは初の試みで、当協会と学生との多方面でのつながりにその後発展していったことも大きな副産物であった。

時 期 平成19年9月18日（火）～9月24日（月）
受入人数 25名

2 相談・斡旋事業

（1）ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳や国際交流・支援など多文化共生を実践していく人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動の提供を目指した。また、一般市民のボランティア活動に対する意識向上と、ボランティア同士の連携を深めるための事業を開催した。

ア ボランティアの登録・紹介の実施

個人またはグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する方には個々のボランティア活動を紹介し、人材の確保に努めた。

・個人ボランティア	通訳・翻訳、イベント協力、ホームステイ
・グループボランティア	
交流・支援活動	日本文化紹介、ほづみ会、オープンハート
教育・学習活動	A l p h a 日本語教室、日本語サロン、 海外生活体験者グループ
情報収集・提供	E - I F F、ひらがなういずゆー

イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の課題共有と解決に向けて開催した。同時に次期人材の育成のため中堅層の参加を求め、T I Aの諸事業への参加をグループのメンバーに促すと共に、新規で登録する人々が定着するような活動環境の整備に努めた。

時 期	平成19年4月22日(日)、6月24日(日)、 9月2日(日)、12月2日(日)、 平成20年2月17日(日)	計5回
参加者	各グループ代表者及び中堅層	

ウ 日本語支援ボランティア養成講座

① 在住外国人対象の日本語支援ボランティア養成講座

市内在住外国人の現状や日本語学習の進め方を実践的に学び、実際に教室で活動できる人材の養成を図った。市内の各日本語教室を紹介することで、5教室へのボランティア参加につながった。

時 期	平成20年9月1日～10月20日	毎週土曜日	全8回
内 容	初めて日本語指導を学ぶ方のための基礎講座		
参加者	21名		

② 外国人労働者対象の日本語支援ボランティア養成講座(新規)

外国人労働者を対象とした日本語教室の担い手を養成し企業からの要請に対応していくことで、日本語学習支援の充実を目指した。一般市民と同時に市内にある企業数社の社員から申込みがあった。

時 期	平成19年11月10日～12月15日	毎週土曜日	全6回
内 容	豊田市の現状及び多文化共生プログラムとしての日本語支援活動、日本語の基礎知識、日本語の教え方など		
参加者	24名		

③ 企業日本語教室開設(新規)

日本語教室の開設希望のあった企業に日本語講師2名及びボランティア講座修了者5名を試験的に派遣した。企業からも日本語が上達したとの評価を受け、平成20年度からの企業主催による日本語教室開催につながった。

時 期：平成20年1月9日～3月28日 毎週水、金曜日 全24回
場 所：大豊工業株式会社
参 加 者：14名（出身地 中国）

エ T I Aボランティアオリエンテーション（新規）

事務所の移転に伴い、新しくボランティアを始めたいという市民を対象にT I Aボランティア説明会を開催し、登録ボランティアの増加につなげた。

時 期 第1回 平成19年5月26日（土）
「はじめてみよう、地域国際ボランティア」

第2回 平成20年2月 2日（土）
「今年こそ、ボランティア」

参加人数 第1回 25名 第2回 30名

内 容 いずれも豊田市の国際化に関心があり、かつT I Aのボランティア活動に積極的に参加を希望する市民を対象に募集した。当日は、4つのT I Aボランティアグループがブースを設け、日頃の活動紹介と新規ボランティアへの呼びかけを行った。通訳・翻訳人材バンクへの個人登録者も増加した。

(2) 外国人多言語相談事業

ポルトガル語（土、日曜）、中国語（火曜午後、土曜午前）の体制で展開。市内の中国籍市民の増加に伴い、中国語相談件数も増加した。今後は、中国語での支援を充実させる必要があると思われる。

相談件数 15件（内、土、日相談件数6件）

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に通訳者を派遣した。平成19年度は病院から重いケースの説明依頼や外国人研修生を雇用する企業からの通訳依頼が見られた。依頼者や内容が多様化する中、ケースによっては有償で派遣するといった新しい派遣のガイドラインを作り、平成20年度より対応していくことになった。

依頼件数 19件（病院4件、市11件、個人2件、企業1件、県1件）

派遣回数 17件

言 語 英語7件、中国語6件、ポルトガル語1件、スペイン語2件、
タイ語1件

(4) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳対応を行った。特に増加する中国籍市民に対する公的書類の翻訳依頼が市役所から殺到し、外国語相談員が対応に追われた。

依頼件数 一般市民：14件（出生・結婚証明書、戸籍の翻訳など）
市役所：18件（中国語翻訳依頼）

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行った。また、依頼に応じ市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催した。

支援内容 朝日小（職員派遣1回、日本語サロン訪問3回、延べ87名）
五ヶ丘小（資料提供1回）
浄水小（講師派遣1名）
美山小（講師派遣3名）
益富中（講師派遣1名）
豊田市教育研究会
総合的な学習部会秋季研修受入れ（教職員約100名）

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内在住外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施した。

時 期 毎週土曜日 午前9時30分～12時 全20回
前期：平成19年6月9日～10月20日
後期：平成19年11月3日～平成20年3月22日
ク ラ ス 入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3
参 加 者 全158名（前期81名、後期77名）
主な出身地：ブラジル、中国、インドネシア、トルコなど

(2) 夜間日本語講座（新規）

日常生活や職場におけるコミュニケーションが最低限図れるよう、在住外国人労働者を対象に、就業後受講できる夜間に入門日本語教室を新設した。前期は交通に便利なTIAで、後期は企業内で、それぞれ試行的に開催した。

時 期 前期：平成19年7月5日～9月27日
午後7時～8時30分
後期：平成20年1月17日～3月27日
夜勤者対象クラス：午後5時20分～6時50分
日勤者対象クラス：午後7時10分～8時40分
会 場 前期：豊田市国際交流協会
後期：株式会社東海理化
参 加 者 前期：11名（出身：ブラジル、インド、インドネシアなど）
後期：30名（出身：ブラジル）

(3) 国際理解教育セミナー

人権・平和・多文化・環境といった地球規模の様々な問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる市民を育成することを狙いとした啓発事業を、参加体験型のセミナー形式で行った。

第1回「地域国際化パイオニアの横顔」

時 期：平成19年10月20日（土）

内 容：外国籍市民の1人として相談員になるまでの経緯を知り、日本人がそういう人々とどのように共生できるかを考えた。

参 加 者：7名

第2回「国際ボランティアの最前線（フロンティア）、活動場所は地域で、海外で」

時 期：平成19年12月15日（土）

内 容：青年海外協力隊OBとTIAボランティアを招き、身近な国際貢献の方法に気付いた。また、海外国際ボランティアの活動を発表した。

参 加 者：18名

第3回「豊田の田んぼを守る中国人？」

時 期：平成20年2月9日（土）

内 容：経済のグローバル化の波にさらされる日本農業界で働く人々の努力を知り、そこで働く中国人研修生たちの背景を考えた。

参 加 者：19名

(4) 外国語講座

ア 韓国・朝鮮語講座

文化・スポーツを通じ依然として注目度の高い隣国の韓国。本講座では入門レベルの韓国語を学ぶ目的で市民対象に開催した。また、移転に伴う開館時間の延長に伴い、従来の昼間講座のほかに夜間の講座を実施した。

時 期 前期：平成19年9月14日～11月2日

毎週金曜日 午前10時～12時 全8回

後期：平成19年11月6日～平成20年3月25日

毎週火曜日 午後2時～4時 全20回

夜間：平成19年6月5日～8月28日

毎週火曜日 午後7時～8時30分 全12回

参 加 者 前期、後期、夜間いずれも20名

イ 中国語講座

市内外国人登録者数第2位の中国への文化理解を図ると共に、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場として開催した。また、移転に伴う開館時間の延長に伴い、従来の年2回の昼間講座のほかに夜間の講座を実施した。

時 期 前期：平成19年7月6日～9月26日
毎週金曜日 午前10時～12時 全12回
後期：平成20年1月9日～3月26日
毎週水曜日 午後2時～4時 全12回
夜間：平成19年6月6日～9月26日
毎週水曜日 午後7時～8時30分
参 加 者 前期11名、後期20名、夜間21名

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門スペイン語と文化の講座を開催した。

時 期 平成20年1月12日～4月5日
毎週土曜日 午後2時から4時 全12回
参 加 者 19名

エ 夜間外国語講座（新規）

社会人や学生を対象に、仕事帰りに受講できる前記以外の外国語講座を実施した。ニーズや講師の確保に応じて言語を選択し、いずれも好評を博した。

時 期 スペイン語：平成19年10月3日～12月5日
毎週水曜日 午後7時～8時30分 全10回
ポルトガル語：平成19年10月5日～12月7日
毎週金曜日 午後7時～8時30分 全10回
参 加 者 スペイン語：19名
ポルトガル語：20名

(5) 外国人防災体制の確立

ア 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

平成18年度に立ち上げた本事業について、内容を更に発展させた講座を行い、災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保に努めた。実践的な通訳・翻訳のスキルを意識した今回の講座では、登録ボランティアとの連携もとれ、災害時避難カードの作成にも貢献してもらうことができた。

時 期 第1回：平成19年6月 5日（土）
第2回：平成19年6月23日（土）
第3回：平成19年7月 7日（土）
第4回：平成19年7月21日（土）
第5回：平成19年8月25日（土） 全5回
内 容 第1回：オリエンテーション（市役所担当職員、TIA職員）
第2回：災害時の通訳翻訳活動の実践
（多文化共生センター 田村太郎氏）

第3回：実践！災害時通訳

（多文化共生センター東京 田中阿貴氏）

第4回：実践！災害時翻訳

（多文化共生センター東京 田中阿貴氏）

第5回：災害時対応のワークショップ・修了式

（市役所担当職員・T I A職員）

修了者 18名（外国人13名、日本人5名）

言語 中国語7名、スペイン語6名、英語4名、インドネシア語1名

イ 多言語による災害時避難カードの作成（新規）

大きな災害が発生した時の避難行動について、外国人市民の知識と理解を深めてもらうためポケットサイズのカードを作成した。アイデアの意見交換から外国語の翻訳など一連の作業を豊田市外国人災害サポートボランティアの協力を得て行うことができた。成果物はT I A、市役所で無料配布した。

成果物 ポケットサイズ避難カード

啓発ポスター（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語）

4 情報収集・提供事業

（1）T I A機関誌発行事業

機関誌「GLOBAL INFO」を新しく発行した。平成19年度オープンしたとよたグローバルスクエアを広く市民へアピールした。

発行回数 年4回（5月、7月、10月、1月）

規格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部/回

（2）国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に情報提供した。

発行回数 年3回（5月、11月、2月）

規格 A4サイズ（両面刷り） 1枚

発行部数 2,000部/回

（3）広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報紙に英語、ポルトガル語による各種生活情報を掲載した。

発行回数 24回（毎号掲載）

規格 A4サイズ 1頁

発行部数 約150,000部/回

（4）各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を、協会ホームページを通じ情報公開した。

(5) T I A ホームページ外国語版作成

以前からニーズの多くあった T I A ホームページの外国語版を、英語、中国語、ポルトガル語の 3 言語で作成し、外国籍市民向けの情報を重点的に掲載した。

(6) T I A リーフレット作成

移転に伴い T I A リーフレットを日本語、英語、中国語、ポルトガル語の 4 言語で作成し、市内の主な機関や市民へ配布した。

規 格	A 4 サイズ	3 つ折	
印刷部数	日本語版		1 8, 0 0 0 部
	英語版		5, 0 0 0 部
	中国語、ポルトガル語		各 6, 0 0 0 部

(7) 「多文化カレンダー」の作成

外国籍市民との共生を促進するため、市内に外国人登録の多い国々を中心に「多文化カレンダー」を作成した。それぞれの祝祭日を掲載し異文化の理解を図った。

規 格	A 2 ポスター版
印刷部数	3, 0 0 0 部

5 国際交流団体育成事業

地域の国際交流事業に対し積極的な支援参加を行うため、平成 1 9 年度も、愛・地球博一市町村一国フレンドシップ事業の継続事業として、市民主体の国際交流・国際協力のボランティア活動を活性化させるための事業を実施した。

(1) 草の根の国際交流の推進

とよた国際交流市民会議を開催し、市内にある国際関係団体からの事業報告と平成 2 0 年度の計画、フレンドシップ継承交付金、日本ブラジル交流年記念事業、小学生国際理解教育学校招待プログラムなどについて情報交換を行った。

時 期	第 1 回	平成 1 9 年 9 月	6 日 (木)
	第 2 回	平成 2 0 年 2 月	2 2 日 (金)

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力を目的とした新規事業への助成金の支援を行った。募集案内も多言語（ポルトガル語、中国語、英語）で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図った。

申請件数：7 件
交付件数：5 件

ア 団体名：N P O 日本語教室「ともだち」
事業名：国際化に伴う日本語学習者との交流推進
助成金：1 5 0, 0 0 0 円

- イ 団体名：にほんごサークル
事業名：末野原交流館日本語教室
助成金：26,000円
- ウ 団体名：ハノーバー・ユニット
事業名：地域紹介英文パンフレット“My Sweet Obara”作成
助成金：96,000円
- エ 団体名：藤岡国際交流協会
事業名：パプアニューギニア国PR紹介
助成金：180,000円
- オ 団体名：NPO法人保見ヶ丘国際交流センター
事業名：グループ・コミュニケーション・トレーニング
助成金：16,000円

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、更には在住外国人がもたらす豊かな個性を生かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署と連携に取り組んだ。

平成19年度としては、豊田市国際有識者会議・防災防犯課・外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努めた。

更に、教育委員会や学校等との連携のもと、各種委員会を通じた外国人児童生徒への支援及び日本人児童生徒への国際理解教育プログラムの提供により、未来の豊田市を担う子どもたちの教育国際化にも力を注いだ。

(2) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査・視察等を実施した。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報提供及び相談対応のほか、交流を深めボランティア活動の場としてとよたグローバルスクエアを運営した。

(1) とよたグローバルスクエアオープニング事業（新規）

とよたグローバルスクエアのオープニング式典と、愛・地球博一市町村一国フレンドシップ事業を記念するメモリアル・ステージ設置の公開及びオープニング記念事業を開催し、関係部署、一般市民へTIAの新しい拠点を披露した。

ア 記念式典

時 期 平成19年6月1日(金)
内 容 テープカット及び交流会
参 加 者 各国代表、関係者 約250名

イ とよたグローバルスクエア一般公開イベント

とよたグローバルスクエアのオープンにともない、愛・地球博メモリアル・ステージやとよたグローバルスクエアにおいて、市民ボランティアグループなどによる交流事業を実施した。

時 期 平成19年6月2日(土)、3日(日)
内 容 ・ボランティアグループ、子どもたち及び留学生によるダンス
合唱、音楽演奏など様々な国を紹介するパフォーマンス
・アスリーの室伏由佳さんによるトークショー
「スポーツを通じた国際交流について」
・愛知みずほ大学の富田輝司学長による講演
「これからのグローバルイゼーションと福祉」
・ボランティア活動紹介パネル展示、ワークショップ、バザー
・多くの企業からの協賛による抽選会
参 加 者 約2,000名

(2) T I A ナショナルデー (新規)

世界各国の文化や生活を紹介するボランティア活動の機会を、在住外国人や市民に提供し、市民主体の国際交流の継承と発展に寄与した。

時 期 平成19年6月10日～平成20年3月30日
毎週日曜日 午後2時
内 容 延べ26か国の歌や踊り、遊びの実演や体験、展示、発表など。
参 加 者 1,500名

(3) T I A 図書室の開設 (新規)

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるため、また外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要な図書・雑誌・新聞・資料・DVD等の収集に努め、それらが閲覧できるライブラリーを開設した。

(4) インターネットPC、無線LANの設置 (新規)

とよたグローバルスクエアに訪れる多くの市内在住外国人や市民のため、多言語に対応するインターネットPCを設置し、また無線LANを導入し、情報提供サービスの向上を図った。

対応言語：英語、ハンガール語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、
イタリア語、スウェーデン語、ルーマニア語、ポルトガル語、
ノルウェー語

(5) 掲示板など情報コーナーの充実（新規）

国際交流・市政・観光情報など来訪者が求める情報を収集し、提供した。また、掲示板を設置し、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとした。

8 その他 ボランティアグループ活動計画

T I A は活動環境の整備と必要な個別の支援を実施した。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネート

姉妹都市デトロイト市交換学生、日本ケニア学生会議、World Campus International (W C I)、桜花学園大学留学生（韓国）

イ 日本文化紹介

市内在住・在勤、又は来訪外国人への日本文化紹介

（茶道・書道・華道・着付け・折り紙等）

件 数 46件（14か国、125人）

(2) 国際協力

ほづみ会

タイランド講座2007「見タイ！聞きタイ！踊りタイ！」

時 期 平成19年9月23日（日）

内 容 在日タイ人によるタイの踊りの披露と、タイ北部の山岳民族の紹介及び参加者によるタイの踊りの体験

参 加 者 50名

(3) 在住外国人と交流・支援

ア E-I F F

① 英語サロンの開催

平成19年6月3日（日）に実施したとよたグローバルスクエアオープニングにおけるスペシャル企画『WOW フィリピン！東洋の真珠』をはじめ、4回のサロンを開催。市民に広く国際交流・理解の場を提供した。

② ENJOY TOYOTA ウォーキングツアー「酒蔵訪問」の開催

外国人を対象とした英語ツアーを開催し、豊田市の見どころを紹介した。

実施日：平成20年1月26日～2月16日

毎週土曜日 全4回

参加者：15か国53人

③ メディカルガイド改訂版の発行

英語による情報誌の改訂版を3,000部発行した。

外国人市民、来訪者に対する医療情報提供に大きな役割を果たした。

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語（ポルトガル語・英語）表記も含め、年3回発行した。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布した。

ウ 日本語サロン

在住外国人の日本語学習支援と子育て支援活動を実施した。

子育て情報誌「のびのび子育て」（5か国語版）の改定版作成。

前期：平成19年 4月～9月

学習者 95名、託児受入11名

後期：平成19年10月～平成20年3月

学習者114名、託児受入20名

エ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（郊外学習）の実施。

時 期：平成19年5月～8月、9月～12月、

平成20年1月～4月 計3期

(4) 学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン①「出会いがいっぱいマレーシア」

時 期 平成20年1月26日（土）

内 容 クアラルンプール日本人学校に赴任経験を持つ小学校教諭を講師に招き、現地の生活や教育事情の話聞く

参 加 者 22名

海外生活サロン②「Bonjour!ベルギーブラッセルに見る各学校の取組み」

時 期 平成20年2月16日（土）

内 容 ブラッセル日本人学校に赴任経験を持つ小学校教諭を講師に招き、現地の生活や教育事情の話聞く

参 加 者 25名